

平成21年11月19日(木)13:28-15:38
如水会館「オリオンルーム」

（審議事項）

1. 機構等法人との協定書の締結について

高畑議長より、機構等法人に対してどのような権限と責任が付与されているかということを確認にする必要がある旨を具体的に説明し、平成22年3月の経営協議会・教育研究評議会で最終的な結論を経て、平成22年4月1日から新協定書のもとで総研大業務を遂行することが了承された。

2. 第二期中期目標計画原案及び年度計画のロードマップについて

高畑議長より、今後の教育の観点から、優れた基礎教育科目を構築していく必要があるのではないかと、非常に優れた人的・物的環境を備えた基盤機関で、更にその部分を伸ばしていくような教育プログラムを作っていくことが必要ではないかという点について説明があり、第二期中期目標計画原案について、原案のとおり承認された。また、年度計画のロードマップについては、今後、修正を加えて平成22年3月の教育研究評議会において審議することです承された。

3. 平成21年度学内補正予算案について

池内評議員より、平成21年度補正予算案は、支出の部・学長裁量経費において9月末の学内予算執行状況により予算の流用を行ったものに授業料・入学料の収入増の部分を追加した旨の説明があり、効率よく有効な予算執行を行うために、今後も年度途中で決算を行うことを確認し、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 平成23年度概算要求の進め方について

今後、当初に概算要求方針を予算委員会で議論し、役員会及び運営会議で基本方針を決定する。そして教育研究担当の理事が中心となり、各基盤機関・総研大内部の各部局からプロジェクトを募集し、概算要求調整委員会を新たにつくり、そこで様々な企画の調整等を行った上で運営会議において、ヒアリング及び審議を行う。その後、予算委員会及び役員会で最終決定を行うという新たな提案の説明が、池内評議員よりなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 修了生追跡調査の位置づけと今後の進め方について

麻生教授より、目的は修了生と大学の学術交流を通じた研究の発展を図ることや修了生の進路活動状況を把握し大学院教育の研究評価に供することであり、また、背景及び今後の予定等について、説明がなされた。これについて、統計的に正しく把握することが重要である旨発言があり、審議の結果、原案どおり承認された。

（報告事項）

以下の報告事項について、資料に基づき、報告があった。

1. 平成22年度概算要求について
2. 平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果について
3. 第2回総研大合同フォーラム「未来ある人類社会の構築」について
4. 公募プログラムについて
5. 平成21年度第一次補正予算における「教育研究高度化のための支援体制整備事業」について
6. 葉山高等研究センターの新運営体制について
7. 葉山高等研究センター研究プロジェクト全体報告会について

8. その他

- ・ 在学生数
- ・ 入学者選抜実施状況
- ・ 学位記授与一覧

(自由討論事項)

1. 入学料免除について

赤塚事務局長より、文部科学省の入学料における見解、入学料納付の問題点、本学における収入の推移等の説明があり、また、文部科学省からの意向や指摘を紹介した。

続いて高畑議長より、今後も枠組みを変えずに積極的に後期編入学を受け入れるが、今後、慎重に議論を進めていきたいとの発言があった。